



第1章

災害の状況について

- 1 平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震について
- 2 東京電力福島第一原子力発電所事故について
- 3 平成23年台風15号水害について

第1章 災害の状況について

1 平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震について

（1）地震の概要

平成23年3月11日14時46分に発生した「東北地方太平洋沖地震」は、マグニチュード9.0を記録し、関東大震災や阪神・淡路大震災を上回る日本国内観測史上最大規模の地震として、宮城県栗原市で震度7、宮城県、福島県、茨城県、栃木県の4県37市町村で震度6強を観測したほか、東日本を中心に北海道から九州地方にかけての広域で揺れ（震度1～7）を観測し、東北地方から関東地方の広範囲にわたり、各地に甚大な被害をもたらしました。

■平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震の概要

地震名	平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震
地震発生時刻	平成23年3月11日 14時46分
発生場所 （震源位置）	三陸沖（北緯38度06.2分、東経142度51.6分、深さ24km）
規模 （マグニチュード）	9.0（モーメントマグニチュード）
最大震度	7（宮城県栗原市）
本市の震度	震度6弱

出典：気象庁ウェブサイトより

（2）郡山市の被害状況

本市においては、震度6弱の激しく長い揺れに襲われ、市内各所で建物や塀が倒壊、道路の亀裂や水道の断水など、市民生活に不可欠なライフラインに多大な被害を受けました。特に、食料や燃料などの生活必需品が不足するなど、大変厳しい市民生活を強いられました。

①人的被害（平成27年7月3日現在）

- ・死者：5名（市内での死者1名・市外での死者4名）※
- ・重傷：2名
- ・軽傷：3名

※死者については、津波による溺死、家屋倒壊による圧死等直接的な原因による死亡者数を記載

第1章 災害の状況について

②建物被害（平成27年7月3日現在）

（単位：件）

種別	全壊	半壊	一部損壊	計
公共施設	0	8	61	69
住家	2,455	21,712	34,415	58,582
店舗等	332	1,142	4,983	6,457
計	2,787	22,862	39,459	65,108

※り災証明の発行件数と同数

③道路・橋りょう・河川・農業施設等（平成24年3月1日現在）

（単位：箇所）

亀裂	隆起	陥没	その他 (護岸崩壊等)	計
789	160	997	755	2,701

④水道施設（震災発生直後）

- ・漏水箇所：約1,000箇所
- ・断水戸数：約37,000戸

⑤下水道施設（平成24年12月末現在）

- ・被災管路延長：5,753m
- ・マンホール等破損：779箇所

⑥避難所の状況（最大）

- ・避難者数：10,013名
- ・避難所数：105箇所
- ・避難所開設期間：平成23年3月11日～6月30日

⑦市内公共交通の状況

○JR東日本

- ・新幹線：全線運転見合わせ（平成23年4月29日全線運転再開）
- ・在来線：全線運転見合わせ（東北本線は平成23年4月21日、磐越西線は平成23年3月26日、磐越東線は平成23年4月15日、水郡線は平成23年4月15日、それぞれ全線運転再開）

○バス

・福島交通株式会社

平成23年3月11日は点検のため運転見合わせ。平成23年3月12日から15日まで通常運行。その後、軽油不足により平成23年3月16日から4月5日まで日祝ダイヤで運行。平成23年4月6日より通常ダイヤで運行。

※一部迂回ルートにより運行（平成23年7月13日まで）

・会津乗合自動車株式会社

スクールバスを中心に一部欠便。平成23年3月26日より通常ダイヤで運行。

【公共施設の被害状況】



全壊の判定を受けた中央公民館（麓山地区内）



損壊した善宝池周辺道路（富久山町地区内）

【住宅等の被害状況】



1階部分が倒壊したビル（麓山地区内）



倒壊した住宅地の擁壁（大槻町地区内）

【震災直後の支援活動】



給水の様子（開成山野球場前）



大規模避難所の様子（ビッグパレットふくしま）

2 東京電力福島第一原子力発電所事故について

(1) 東京電力福島第一原子力発電所事故の概要

平成23年3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」により、東京電力株式会社の福島第一原子力発電所では、大津波で非常用を含む全電源が喪失し、原子炉の炉心冷却機能が停止、汚染水の滞留、外部流出も発生するなど、発電所内施設の損傷に留まらず、原子炉建屋の水素爆発等に伴い放射性物質が外部に放出される事態となりました。

今もなお、多くの方々が避難生活を余儀なくされ、農水産物への風評被害など、被災地のみならず、国内外の各方面へ深刻な影響をもたらしています。

■東京電力福島第一原子力発電所事故の経過

- ・平成23年3月11日 政府が原子力災害対策特措法に基づき原子力緊急事態を宣言
- ・平成23年3月12日 東京電力福島第一原子力発電所1号機で水素爆発
- ・平成23年3月13日 同3号機の燃料棒が露出
- ・平成23年3月14日 同3号機で水素爆発、同2号機で燃料棒が全露出
- ・平成23年3月15日 同2号機格納容器の圧力抑制プール付近で爆発、同4号機で水素爆発

(2) 郡山市の被害状況

東京電力福島第一原子力発電所事故により、本市にも放射性物質が飛散し、環境放射能測定値が大きく上昇し、すべての市民が安心して暮らすことができるようにするため除染が必要となったほか、様々な風評被害も生じました。現在も、本市の経済や市民生活に多大な影響を及ぼしています。

①市内空間放射線量率の推移

(単位：^{マイクローベルト} $\mu\text{Sv/h}$)

測定場所	平成23年3月29日	平成26年12月31日	空間放射線量率 低減率
福島県郡山合同庁舎	2.59	0.13	95.0%
市役所本庁舎	2.57	0.20	92.2%
福島県農業総合センター	2.78	0.18	93.5%
逢瀬行政センター	1.10	0.19	82.7%
田母神小学校	0.40	0.09	77.5%

※シーベルト (Sv)：放射線を受けたときの人体への影響を表す単位

1シーベルト (Sv) = 1,000ミリシーベルト (mSv) = 1,000,000マイクロシーベルト (μSv)

②空間放射線量率の測定値が国の基準を超えた施設（平成23年）

(単位： $\mu\text{Sv/h}$)

分類	施設数	施設名	測定値
小学校	1校	薫小学校	4.5 (3.8) ※1
中学校	3校	郡山第一中学校	4.5 (3.7) ※1
		郡山第二中学校	3.8 (2.7) ※1
		郡山第三中学校	4.4 (3.6) ※1
幼稚園	1園	私立	3.8 (2.9) ※1
都市公園	1箇所	荒池西公園 利用制限：6月14日～10月7日	4.4
農村公園	1箇所	荒池農村公園 利用制限：6月14日～10月7日	3.9

※1 福島県災害対策本部が平成23年4月5日～7日測定

() 内数字は文部科学省が4月14日測定

⇒中学校3校は、国の再測定により基準値^{※2}を下回っていることを確認。

その後の表土除去(22ページ参照)により、空間放射線量率低減。

※2 国の基準：地上高1mで $3.8\mu\text{Sv/h}$

③農畜産物における出荷・摂取制限の状況

品目	出荷制限・摂取制限等
原乳	平成23年3月21日 出荷制限 ※平成23年4月16日 解除
カブ	平成23年3月23日 出荷制限 ※平成23年5月4日 解除
結球性葉菜類 (キャベツ・白菜など)	平成23年3月23日 出荷制限・摂取制限 ※平成23年5月4日 解除
アブラナ科花蕾類 (ブロッコリー・カリフラワーなど)	平成23年3月23日 出荷制限・摂取制限 ※平成23年5月11日 解除
非球性葉菜類 (ホウレンソウ・コマツナなど)	平成23年3月23日 出荷制限・摂取制限 ※平成23年6月1日 解除
肉用牛	平成23年7月19日 ・県内飼養牛の県外移動及びと畜場への出荷を 差し控えるよう要請 ※平成23年8月25日 ・出荷・検査方針に基づき管理される牛は除く
野生きのこなど	平成23年9月15日 出荷制限
乾しいたけ(平成23年産)	平成23年11月18日 出荷自粛 ※平成24年度以降は出荷・摂取制限なし
こしあぶら	平成24年5月7日 出荷制限

第1章 災害の状況について

品 目	出荷制限・摂取制限等
たらのめ（野生のものに限る）	平成24年5月7日 出荷制限
ドジョウ（養殖）	平成24年6月20日 出荷自粛
タケノコ	平成24年6月25日 出荷制限
米（平成24年旧富久山町産）	平成24年11月5日 出荷制限 ※平成24年11月8日 解除
大豆（旧高野村産）	平成25年1月4日 出荷制限 ※平成26年10月7日 解除
くさそてつ（こごみ）	平成25年4月30日 出荷制限
ぜんまい	平成25年6月10日 出荷制限
支流を含む福島県内の阿武隈川の鯉 （養殖により生産されたものを除く）	平成26年9月10日 採捕の自粛 平成26年9月16日 出荷制限
おおばぎぼうし（うるい） （野生のものに限る）	平成27年5月1日 出荷自粛

④下水処理汚泥の放射性物質濃度

処理施設	測定日	セシウム134とセシウム137 の合計値 ^{ベクレル} （Bq/kg）
下水道管理センター（沈砂）	平成27年7月6日	2,600
県中浄化センター（溶融スラグ）	平成27年5月31日	1,260
県中浄化センター（脱水汚泥）	平成27年5月31日	187

※県中浄化センターは福島県による測定

※ベクレル（Bq）：放射性物質が放射線を出す能力（放射能の強さ）を表す単位

⑤水道水の摂取制限の状況

浄水場	乳児		乳児以外	備考
	摂取制限	解除日	摂取制限	
豊田浄水場	平成23年3月22日	平成23年3月25日	なし	平成23年3月21日、豊田 浄水場水道水で150Bq/kg の放射性ヨウ素を検出
堀口浄水場	なし	—	なし	
熱海浄水場	なし	—	なし	
荒井浄水場	なし	—	なし	

※平成23年4月17日以降、市内4浄水場の水道水から放射性物質は不検出

※平成25年4月1日からは、浄水施設統合事業により豊田浄水場を廃止し、堀口浄水場に統合したため、堀口、熱海及び荒井の3浄水場の水道水を測定し、公表しています。

3 平成23年台風15号水害について

(1) 台風15号の概要及び国内の被害状況

平成23年9月13日15時に沖ノ鳥島の北東海上で発生した大型の台風15号は、21日14時頃に静岡県に上陸し、強い勢力を保ったまま北東へ進み、上陸前から本州付近に停滞していた秋雨前線を刺激し、西日本から北日本にかけての広い範囲で、暴風や記録的な大雨となりました。

- ①人的被害：死者18名・行方不明者1名
- ②建物被害：住家被害11,579棟
- ③土砂災害：194箇所
- ④その他：農業・林業・水産業被害や停電被害、鉄道の運休、航空機・フェリーの欠航等による交通障害が発生

※被害状況は「平成23年12月28日内閣府まとめ」による。

(2) 郡山市の被害状況

本市においては、1日当たりの降水量として観測史上最高値の174.5mm/日を記録するとともに、阿武隈川の河川水位も、昭和61年8月5日水害時の8.75mを超える過去最高の9.25m（9月21日23時30分阿久津水位観測所）を記録し、市内48地区（対象世帯：27,323世帯、対象人口：66,335人）に避難指示が発令され、阿武隈川の沿川地域を中心に多大な被害をもたらしました。

■郡山市の警報等の状況

- ・平成23年9月20日 16時26分 大雨警報発表
- ・平成23年9月21日 13時45分 洪水警報発表
- ・平成23年9月22日 4時29分 大雨警報解除
12時14分 洪水警報解除

①建物被害

(単位：件)

床上浸水	床下浸水	非住家浸水	計
1,522	162	234	1,918

②り災証明の発行件数

2,142件（本庁：1,435件、行政センター（富田・大槻を除く）：707件）

③避難所の状況（最大）

- ・避難者数：1,763名
- ・避難所数：32箇所
- ・避難所開設期間：平成23年9月20日～12月23日

第1章 災害の状況について

【被害状況】



ボートによる救出の様子（古川地内）



浸水した住宅地（芳賀地内）



浸水対策作業の様子（若葉町地内）



浸水した県道郡山・大越線（向河原町地内）



浸水したゆうゆう地下道（向河原町地内）



被災家財等撤去の様子（昭和地内）